

書誌

廣川洋一著作・論文目録

ヘシオドス 『神統記(テオゴニア)』(1)

小川 政恭, [共訳] 近代 33, 121-145, 1962-04

BURN, Andrew Robert : The Lyric Age of Greece, Pp.xvi+422, Edward Arnold,

London, 1960. 西洋古典学研究 11(0), 107-111, 1963-3

オルペウス教における正義について 哲学論叢 (21), 1963-01

ヘシオドス 『神統記(テオゴニア)』(2) 小川 政恭 [共訳] 近代 34, 114-135, 1963-05

Hesiodos Theogonia v. 120 sqq. et v. 201 sqq. : エロスの問題をめぐって

西洋古典学研究 12(0), 13-26, 1964-3

仕事と日々-1- ヘシオドス [訳註] 史潮 (91), 1965-04

仕事と日々-2- ヘシオドス [訳註] 史潮 (92), 1965-07

ヘシオドス 神統記

『世界文学大系 63 ギリシア思想家集』 田中美知太郎編 筑摩書房 1965-1

／ [改訳] 『世界文学全集 2 ギリシア神話』 筑摩書房 1979-10

「アリストテレスの場所論」

『バルグソン全集 1』 所収 村治能就[共訳] 白水社、1965-5

『宗教から哲学へ:西歐的思索の起源の研究』

F・コーンフォード 東海大学出版会、1966／ 新版 1987-9

NICOLAI, W., Hesiods Erga, Beobachtungen zum Aufbau, 213 S., Bibliothek der

klassischen Altertumswissenschaften, Neue Folge 2. Reihe, Heidelberg,

Winter, 1964 西洋古典学研究 15(0), 118-121, 1967-3

ヘシオドスにおける ΕΛΠΙΣ について 東海大学紀要 文学部 (8), 69-81, 1967-02

ヘシオドスにおける ΑΙΔΩΣ 的概念 哲学論叢 (24), 64-74, 1967-07

WEST, M. L., Hesiod Theogony, Edited with Prolegomena and Commentary,

Pp. xiii+459, Oxford Univ. Press, 1966 西洋古典学研究 16(0), 118-120, 1968-3

いわゆる五時代説話の意図するもの—ヘシオドス「仕事と日」における

東海大学紀要 文学部 (9), 1-16, 1968-02

哲学以前 古代ギリシアにおける叙事詩と抒情詩の精神的風土

『岩浪講座 哲学 16 哲学の歴史 I』 岩波書店 1968. 1

Ἔργα, ὠραῖοδ, καιρός et μέτρα 考—「仕事と日」における正義研究への序説

東海大学紀要 文学部 (12), 27-43, 1969-10

Fragmenta Hesiodica, ediderunt R. Merkelbach et M. L. West, 1967, Oxford Univ. Press

西洋古典学研究 18(0), 89-91, 1970-3

黄金時代と英雄時代について—「仕事と日」における正義考-2-

東海大学紀要 文学部 (13), 37-56, 1970-03

言葉—プラトンの『クラテュロス』を手がかりに—

『文明』6号 東海大学文明研究所 1971. 1

ΕΡΓΟΝ et ΔΙΚΗ(ヘーシオドス「仕事と日」における正義考-3-)

東海大学紀要 文学部 (15), 15-34, 1971-06

弁論術と哲学：プラトンとキケロの場合 付録 キケロ『詩人アルキアス弁論』試訳 東海大学紀要 文学部 (16), 31-58, 1971-09-25

「クラテュロス」 『プラトン著作集 1』所収 村治能就〔共訳〕 勁草書房、1971-1

「イオン」 『プラトン著作集 4』所収 勁草書房、1971

学問と詩 — “切れめ” という事 『東海大学新聞』1971. 11. 5

哲学のはじまりと抒情詩：アルクマンの場合 西洋古典学研究 20(0), 40-48, 1972-3

詩をよむという事

『文明ヨーロッパ』 東海大学文学部文明学科ヨーロッパ専攻研究室 1972. 11

『仕事と日』における「日」の真偽について

東海大学紀要 文学部 (18), 48-66, 1972-12

ソクラテス—ソクラテスの『弁明』—

『哲学の名著 12 選』 古田光編 学陽書房 1972-9

理論の性格について—プラトンにおける理論的説明と比喩的語り

『文明理論への試み:東海大学創立三十周年記念論文集』 斎藤博編 東海大学出版会、1973

似非創作術と哲学 『古代哲学研究 V』 古代哲学談話会編 1973. 4

ヘシオドスの精神と「仕事と日」の構造 東海大学紀要 文学部 (19), 1-25, 1973-08

プラトン アカデメイアの跡を訪ねて 『文明』15号 東海大学文明研究所 1974. 11

『ギリシア神話の研究:神話の思考方法と時間様式』

パウラ・フィリップソン 川村宣元〔共訳〕 東海大学出版会、1974／改題新版 1979

自然としての正義と人間にとっての正義(ヘシオドス「仕事と日」における

正義考-4-) 東海大学紀要 文学部 (21), 19-27, 1974-07

久保正彰, ギリシア思想の素地-ヘシオドスと叙事詩.

[書評] 西洋古典学研究 23 75-78, 1975-3

学門の散歩道 数学と人間 [対談] 近藤基吉 『望星』 東海大学教育研究所 1975

『ヘシオドス研究序説—ギリシア思想の生誕』 未来社 1975. 12

ヘシオドスの生涯、年代及び著作について

『バルカン・小アジア研究』II 東海大学バルカン・小アジア研究センター [編] 1976

神話から合理思考へ

[翻訳] 『シャトレ哲学史I ギリシア哲学』藤沢令夫監訳 白水社 1976-11

初期ギリシア宇宙生成論研究 I—いわゆる神話的宇宙生成論と哲学的宇宙生

成論— 『バルカン・小アジア研究』III 東海大学バルカン・小アジア研究セン

ター [編] 1977-2

ピロソピアとしての学の生成—測定術から新しい測定の学へ

『ヨーロッパにおける学の生成』 編著 東海大学出版会、1977-10

「書き物(リテラトウラ)」とプラトンの書物について (<書物>と<読者>—意味

の不在=変容から) 現代詩手帖 21(6), p104-109, 1978-06

プラトンの学園 『未来』 未来社 1978. 12

『ヘシオドス全断片の文献学的研究』 文部省科研費研究成果報告書 1979

『ギリシア思想の生誕』

第5回哲学奨励山崎賞受賞記念シンポジウム 同選考委員会 河出書房新社 1979-12

人間の生成と人間的世界の成立—最初期ギリシアにおける人間と自然

『ギリシア・ローマの神と人間』 中村,松本,岡編 東海大学出版会 1979-5

『プラトンの学園 アカデメイア』 岩波書店、1980-1／講談社学術文庫、1999-1

Hesiod, Works and Days, edited with Prolegomena and Commentary by M. L. WEST.,

Pp. xiii+399, Clarendon Press, Oxford, 1978., £ 15.00.

西洋古典学研究 28(0), 99-101, 1980-3

プラトンの技術・学知について—「パイドロス」270C の解釈を支点として

(プラトン<特集>) — (プラトンの哲学の途) 理想 (570), p29-44, 1980-11

- 「哲学知」のはじまり—アナクシマンドロスとソロンの場合
思想 (690), p22-48, 1981-12
- 抒情詩人アルクマンの宇宙生成論 「限定」の原理をめぐって
『現代思想 3』 臨時増刊号 青土社 1982. 3
- 二つのピロソピアー イソクラテスとプラトン
『世界観と哲学の原理』 飯塚勝久他編 東海大学出版会 1982-4
- 知性と倫理性—初期ギリシア人の人間観における—
『ヨーロッパにおける人間観の研究』 古田光編 未来社、1982
- 『ノモスとピュシス:ギリシア思想におけるその起源と意味』
F. ハイニマン 玉井治、矢内光一〔共訳〕 みすず書房、1983-4
- 読書アンケート 『みすず』 みすず書房 1984. 1
- 山崎先生の御風姿寸描 『山崎正一全集』 第5巻月報 朝日出版社 1984. 12
- 『神統記』 ヘシオドス 岩波文庫、1984-1/復刊2016
- 読書アンケート 『みすず』 みすず書房 1985. 1
- ギリシャにおける「無」—パルメニデスの<非有>を中心に
『理想』 「無」の思想特集号 (621), p76-88, 1985-02
- 『イソクラテスの修辞学校—西欧的教養の源泉—』
岩波書店 1985-6 / 講談社学術文庫 2005-7
- 〈自由三学科〉の成立 『新・岩浪講座 哲学1 4 哲学の原型と発展』 岩波書店 1985-8
- 根について 『創文』 NO. 260 創文社 1985. 10
- 国家と魂のいわゆるアナログイヤーについて—プラトンの思考のある仕方を中心に
東海大学紀要 文学部 (47), p1-10, 1987-3
- プラトンと知的環境<ピロソピアー>と<イデア-エイダス>の 2 つの言葉をめぐって
東海大学紀要 文学部 (48), p1-21, 1987-3
- 『ソクラテス以前の哲学者 初期ギリシアにおける宇宙自然と人間の探究』
講談社 1987-10/講談社学術文庫、1997-11
- プラトンにおける教育と素質—教育の可能性をめぐって—
『バルカン・小アジア研究』 XIV 東海大学バルカン・小アジア研究センター 1987
- アナクサゴラスの〈知性〉: 目的論とのかかわりにおいて
哲学・思想論叢 (7), 1-16, 1989-01-30

ソクラテス以前における自然概念

『古代の自然観』 上智大学中世思想研究所編 創文社 1989. 12

〈知の旅〉考 : ソクラテス以前の哲学者たちの場合

文学研究論集 (7), (柳沼重剛先生退官記念) 9-20, 1990-03

プラトンとイソクラテス 人間固有の善く徳に目覚めよ

『ニューリーダー』 臨時増刊号 「人間いかにあるべきか」 1990. 11

『ギリシア人の教育 教養とはなにか』 岩波新書 1990-2

容赦ない自己省察 [書評] 水地宗明著『注解マルクス・アウレリウス『自省録』』

『図書新聞』1991. 1. 1

『古典・名著の読み方』 編著 日本実業出版社 1991-11

元素と劇(ドラマ) 『ギリシア悲劇全集』 月報11 岩波書店 1992. 3

アクラシアーとはなにか—Aristoteles, Ethica Nicomachea 73,6,7 を中心に

筑波哲学 (4), p8-23, 1993

「徳」と人間教育 『聖教新聞』1994. 2. 25

ソクラテス以前の哲学者たち

『比較思想・東西の自然観』 青山昌文編 放送大学教育振興会 1994. 3

プラトンの感情論—古代感情論の系譜-1- 思想 (839), p4-33, 1994-05

アリストテレスの感情論—古代感情論の系譜-2- 思想 (842), p103-127, 1994-08

アリストテレスにおける徳と感情—古代感情論の系譜-3-

思想 (844), p103-128, 1994-10

プラトンにおける徳と感情—古代感情論の系譜-4- 思想 (848), p109-131, 1995-02

ストア派の感情論 筑波哲学 (7), 9-30, 1996-03

ストア派における徳と感情 思想 (871), 97-121, 1997-01

知者の「笑い」 『ソクラテス以前哲学者断片集』V 付録2 岩波書店 1997. 3

イソクラテスとプラトン 『西洋古典叢書』 月報14 京都大学学術出版会 1998. 10

プラトンの感情論再考 筑波哲学 (9), 1-36, 1999-03

追想 ヘレニズム哲学研究会記念論集 同会刊 2000

『古代感情論—プラトンからストア派まで』 岩波書店 2000-7

二つの怒り論—セネカとプルタルコス—

『西洋古典叢書』 月報18 京都大学学術出版会 2000. 07

二つの論点 『キケロー選集』第2巻 月報7 岩波書店 2000. 08

- 藤沢令夫先生 『藤沢令夫著作集 II』 月報2 岩波書店 2000. 11
プラトンの学園 アカデメイア
『季刊大林 特集アカデメイア』 No.49 大林組広報室 2002. 03
道徳と規則とストア 『西洋古典叢書』 月報56 京都大学学術出版会 2003. 05
忠告としての哲学—古代哲学の一特質 筑波哲学 (13), 11-21, 2004
「忠告」としての哲学—セネカ道徳哲学の基礎 思想 (967), 5-23, 2004-11
「忠告」としての哲学：プラトン『法律』の場合 龍谷哲学論集 (19), 1, 2005-01-31
忠告の「原理」—ストア道徳哲学における (ストア派の哲学とその遺産)
思想 (971), 99-123, 2005-03
プルウタルコスの方法 パラダイグマと忠告
『プルタルコスの総合的研究』 文部省科研費研究成果報告書 2005-3
アリストテレスと道徳規則—忠告としての哲学 アリストテレスの場合
竜谷哲学論集 (20), 1-41, 2006
田中美知太郎著『哲学初歩』解説 『岩波現代文庫』 岩波書店 2007. 01
笑いは友のあいだに 『ギリシア喜劇全集』 第2巻 月報2 岩波書店 2008. 09
次善の哲学と選択(上)ストア道徳哲学における 思想 (1032), 7-33, 2010-04
次善の哲学と選択(下)ストア道徳哲学における 思想 (1034), 195-225, 2010-06
『哲学のすすめ』 アリストテレス 講談社学術文庫大文字版、訳・解説、2011-3
ヨーロッパに由来するコミュニケーション 古代ギリシア哲学における「対話」
『問答と論争の仏教』 M・レップ他編 法蔵館 2012-2
ヘシオドスの道 『西洋古典叢書』 月報100 京都大学学術出版会 2013. 05
燃え立つ人 井上忠先生 『井上忠追悼集』 同刊行委員会 2014
『キケロ『ホルテンシウス』断片訳と構成案』 岩波書店、2016-1
「プレポン」の響き 『アリストテレス全集』 第16巻 月報13 岩波書店 2016. 02
義務論の淵源を尋ねて (上) 思想 (1121), 49-67, 2017-09
義務論の淵源を尋ねて (下) 思想 (1122), 152-166, 2017-10

[付記] 2019年夏、『キケロ『義務について』を読む』の原稿を書き了出版社に渡され、引き続きアリストテレス『弁論術』の研究に着手されていました。

(生田幹男)